

令和6年度第1回柏市農業振興審議会会議録（概要）

1 開催日時

令和6年9月30日（月）午後2時00分～午後3時00分

2 開催場所

柏市柏255番地1 分庁舎2 2階第1・2会議室

3 出席者

(1) 委員

染谷会長，染谷副会長，増田委員，程田委員，遠藤委員，木村委員，成嶋委員，鹿倉委員，坂巻委員，小池委員

(2) 事務局

中村農政課長，古関主幹，平川主査，栗原主任

(3) 関連部局

健康増進課

4 委員の変更及び会長の選任についての報告

議事に先立ち，事務局より，前回開催から変更が生じた委員4名について，委嘱した旨を報告した。また，前回，会長に染谷茂委員，副会長に染谷透委員を選任しており，今回も継続となることを報告した。

5 議題

(1) 柏市食育推進計画の策定について（諮問）

(2) 柏市都市農業振興計画計画の策定について（諮問）

6 議事（概要）

(1) 柏市食育推進計画計画の策定について（諮問）

事務局より配布資料に基づき，策定に向けたスケジュールや諮問内容，計画の策定体制及び基本目標（案）について説明を行った。答申については，令和7年3月の審議会を経て行う予

定である。

(以下、委員意見抜粋)

(染谷会長)

・以前政治評論家が「都市近郊での農業は不必要であり、農産物は輸入した方がよい」とテレビ等で唱えたことで、田んぼがゴミ捨て場のように粗末に扱われたことがある。以来30年間小学校や保育園、幼稚園で稲刈り等の農業体験を続けており、食について考えてもらう機会になっている。現在の日本の食料自給率は低く、万が一を考える必要がある。

(小池委員)

・動物の飼料や種などを含めると、食料自給率は限りなくゼロに近く、有事を考えると食料自給率は上げるべきである。

(程田委員)

・小中学生までは朝食は欠かさなかったが、成人し生活スタイルが変わるとともに、家族に顔を合わさずに家を出て行くことが増えた。

・物価高騰によりこども食堂の利用者が増えていると考える。

(鹿倉委員)

・枝豆の収穫体験と試食を実施した際に、参加者がとても美味しいと喜んでいたことが印象的である。日本は交通網が発達している割に、新鮮な食材が手に入る環境から遠く、新鮮なものを新鮮なうちに食べる機会が少ないと考える。食材の入手については、価格を第一に考え、スーパーでセール品を買う人も多い中で、様々な方向から食育を考えていく必要がある。

(2) 柏市都市農業振興計画の策定について（諮問）

事務局より配布資料に基づき、策定に向けた全体スケジュールや、審議会の開催予定及び内容について説明を行った。答申については、今後開催予定の審議会を経て行う予定である。

(以下、委員意見抜粋)

(染谷副会長)

・資材高騰が続く中で一生懸命生産しても、野菜の価格は大きく変わらないため、農業者の所得は下がってしまう現状がある。

(染谷会長)

・後継者不足について，知人の農家の中には，自分の子供には絶対に農業をやらせないという人がいる。農業を選ばない理由には所得が低いことが挙げられ，米等の食品の価格が下がることがあっても，農機具や肥料，農薬で値段が下がったものはない。農業の魅力をしっかりと作っていかないといけない。

7 傍聴

傍聴者 1名